

「地域の おじさん・おばさん運動」

(ソーシャルアンクル・ソーシャルアUNT運動)

あなたも、「地域のおじさん・おばさん」になってください。

地域の子どもは、地域で守り育てる

非行や犯罪、いじめの多発、ひきこもり……。加えて社会の規範意識の低下、親子関係の希薄化など、子どもたちをめぐる問題が深刻になっています。「子どもは社会を写す鏡」。そんな考え方に立ってみると、私たち大人の方から、先にしなければならないことがたくさんあります。

「地域のおじさん・おばさん運動」は、“地域の子どもは、地域で守り育てる”を合い言葉に、大人が子どもたち一人一人を温かく見守りながら、ときに励まし、ときに注意や助言をすることにより、地域の連帯感と教育力を高めることを目的にした運動です。

たとえば、こんなことからいいんです

■よいことは、自ら率先して行動しましょう。

■まず、子どもたちに温かい声をかけましょう。

あいさつはすべての基本。身近な子どもたちに“おはよう”、“こんにちは”と積極的に声をかけてください。良い行いを目にしたときは、ためらわず褒めてあげましょう。逆に、危険な遊びやルール違反は、見て見ぬふりをせず、注意しましょう。

でも、こんなことには気をつけて

■身の危険を感じたら無理をしないでください。

自分の身に危険を感じるような場面では、決して無理をしないこと。補導員や警察官など専門家の意見や、助言・指示を得ながら対処することが大切です。

■補導や取り調べとは違います。

「地域のおじさん・おばさん」は、公的機関等から認定された資格・身分ではありません。子どもたちの健全な成長を願う大人のボランティア活動です。子どもたちを「補導」したり、「取り調べ」したりはできません。

